



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2012年8月号

「主題」

- 国際会長 : 世を照らす光になろう
 アジア地域会長 : 歳月はY'sをワイズ(賢者)にする
 西日本区理事 : 先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で
 中部部長 : 前へ! 声を掛け合い
 プラザクラブ会長 : 明日に希望を クラブに活力を
 強調月間・ポイント:【Youth Activities 将来のYMCAとワイズを担うユースを育てるための活動と支援をしましょう】

8月例会および今後の予定案内

【8月第1例会】

日時: 8月9日(木)・18:30-
 場所: 浩養園ビヤガーデン
 名古屋市千種区千種 2-24-10 TEL052-741-0211
 : 地下鉄「鶴舞駅」・「千種駅」から徒歩約15分
 内容: 反省会(暑気払い)

【8月第2例会】

日時: 8月23日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 次月例会の打ち合わせ
 出席義務者: 役員(高田・榎田・常盤)
 9月担当者(高田・小澤)
 10月担当者(榎田・常盤)

【今後の予定】

- パレットキッズとマス釣り会
 日時: 8月12日(日)・10:00現地集合
 場所: みやま荘 長野県木曾福島郡木曾町新開 7618-3
 TEL. 0264-27-6177
- 第16回中部部会
 日時: 8月26日(日)・13:30-
 場所: 名鉄ニューグランドホテル
 会費: 10,000円/人
- 9月第1例会(野外例会)
 日時: 9月8日(土)・10:00現地集合
 場所: 稲永公園(稲永ビジターセンター前)
 *ナビ目安・名古屋市港区野跡 4-11-2 TEL052-389-582

7月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者				
		1	2	①	②	③
直前会長	大島 孝三郎	○	○		○	
副会長	小澤 幸男	○				
書記	榎田 守隆	○	○	○		
	後藤 猛	○	○	○		
	島崎 正剛	○				
	鈴木 誉三	○	○			
会長	高田 廣	○	○			
会計	常盤 眞理子	○	○			
連絡主事	万福寺 昭美	○	○			
課外活動	① 四日市・STEP 壮行会 7/19					
	② 日和田キャンプ場開設作業 7/21-22					
	③					
出席率・%					100.0	
					当月 累計	
クラブファンド・円					6500 6500	
8月号寄稿者(400字詰原稿用紙4-5枚程度)・鈴木						
9月号・島崎/10月号・高田/11月号・大島						
12月号・後藤/1月号・常盤/2月号・万福寺						

【2012-13年度クラブ役員】大島孝三郎・メール委員/小澤幸男・Yサユース/榎田守隆・広報事業、ブリテン担当・HP委員
 後藤猛・副会計/島崎正剛・EMC、交流/鈴木誉三・会計監査、地域奉仕、環境/高田廣・ファンド/万福寺昭美・連絡主事

Youth(ユース)=ワイズダム(ワイズの世界、ワイズ運動の状況)の発展のためには、若者の積極的な参加が重要となってくる。ユースとは、ワイズのコメット(ワイズメンの子女)だけでなく、YMCAのリーダー、そのOB、海外からの留学生も含む若者の総称。

7月第1例会報告

日時：7月12日（木）・18：45－20：45

場所：名古屋YMCA会議室

例会の始まる前に「東日本大震災復興支援事業」を推進する「愛チカラ」団体の代表者から、8月5日-19日北設楽郡東栄町の東栄グリーンハウスで福島県の小学生および保護者100人が参加予定の「福島っ子サマーキャンプ」開催に対する協力金要請のアピールがあった。

「愛チカラ」とは、愛知県内20の大学と社会人サポートにより昨年4月に設立、現地の人々に寄り添い、長期的に支援活動を行うことを目的とする。また、復興支援を通し、大学生が自発的に活動し、様々な経験を積み、自己成長することによって、人間力に富む日本のリーダーとなる人材の育成を目指している。(配布チラシより)短時間で一方的にアピールされたため、いつまでに、どの程度の寄付でいいのか、討議されずじまいでしたので、第2例会にでも議題に上げたらどうでしょうか。



(「愛チカラ」所属の南山大学生サマーキャンプの支援訴える)

1. 新・前会長挨拶

2. 新役員紹介・高田

3. 前年度会計報告(資料配布)・後藤

前年度繰越金	115,212	支出合計	747,368
収入	798,848	次年度繰越金	166,692
合計	914,060	総合計	914,060

4. 前年度会計監査報告・鈴木

監査した結果、適切であることを確認する。

5. 新年度活動方針(資料配布)・高田

6. 新年度予算説明(資料配布)・常盤

前年度繰越金	166,692	支出合計	796,400
収入	818,000	次年度繰越金	188,292
合計	984,692	総合計	984,692

7. 諸連絡

(1) ブリテン報告・榎田

- ①発行部数 ②郵送部数 ③コスト ⑤保管状況
⑥ブリテンに対する意見・要望等

(2) メンバー全員の名刺作成・榎田

名刺の記載内容、全員了解。

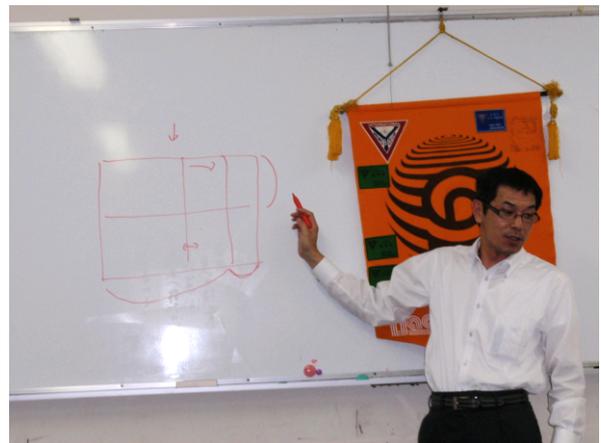
(3) 日和田開設準備(7/21-22)参加者確認・榎田 後藤・榎田

(4) 2クラブのメンバー子弟イベント参加・大島 グランパス・ユースコンポケーション、四日市STEP 参加への支援金は、7月分のファンド(ニコボックス)を等分してそれぞれに協力する。

8. 卓話「己を知る」

講師：近藤博之氏 プロフィール

明治大学 工学部建築学科卒業後、(株)近藤建設に入社。オフィス関連商品の提案販売、研修・教育事業、インターネットサイト運営を展開する(株)オフィスステーションカジワラ(OSK)社長の要請により、現在経営セミナー、営業マンスキルアップセミナー、営業マナー、接客マナー研修や長きに渡り積み重ねた臨床心理学を基にTAセミナー(交流分析)などの研修事業に携わる。



(バイタリティー溢れる力強いトークに圧倒される)

ボードに四角形の中に十字を書き込み4等分して、人間は、自分自身のことは-自分も他人もよく知っている・他人は知らないが自分だけは知っている・自分は知らないが他人はよく知っている・自分も他人もわからない未知の領域、と自分認識(自分の評価)と他者認識(他人の評価)、いわゆる自己分析の講義が始まった。

要は自分のことをどの程度認識しているかにより、十字が上下左右に移動し4つの枠の広さの加減で未知の領域、すなわち自分も他人も知らない性格を導き出してビジネスに生かす、ということである。

最後に、動作がきびきびしていて能率的である・あけっぴろげで自由である・相手をみくだす・周囲の人にうまく合わせていく、などの設問が読み上げられ、いつも・しばしば・ときどき・めったにないの4項それぞれの点数を直感的につけるテストがあった。平たく言えば性格診断テストである。ある人の性格は、他人に批判的で冷淡、合理的であるがわがままでマイペース、と出た。確認するが、このテストは、『その人の性格や人との関わり方などを表したものであり、人の優劣を表すものではない』。俎上に上がった人、ご安

心ください。機関銃のような早口と大砲のような大声でのトークに圧倒され、1時間の講義はアツという間に終わった。

7月第2例会報告

日時:7月26日(木)・18:45-20:00

場所:名古屋 YMCA 会議室

1. 連絡事項・高田

(1)8月第1例会

大島さんの卓話を変更して、浩養園での「暑気払い」とする。詳細は1ページ目の例会案内参照のこと。

(2)会長連絡会議

7月27日19:00、YMCA 会議室で開催する。

(3)能楽堂見学会

7月28日9:15、現地集合。

2. 報告及び提案事項・櫛田

(1)パレットキッズとマス釣り会値上げ

例年より1万円上乘せの2万5000円となる。詳細は「始末記」参照のこと。

(2)パレットキッズと釣り会参加者確認

大島・櫛田・後藤・鈴木

(3)陶芸教室開催の提案

中高生同期に土岐市に陶房を持つ者がおり、日和田キャンプ場開設準備の時、「作陶しませんか」と他クラブのメンバーに打診したところ感触が良かったため7月27日の会長会議でアピールして参加者を募りたい。詳細は5ページ目の案内チラシを参照のこと。

(4)8月号のブリテン発行が遅れます

わたしのパソコンが壊れました。発行は8月6日ごろになりそうです。

3. 会計の文具購入許可・常盤

出納帳その他の文具(5,153円)を揃えました。

4. YMCA からの連絡・万福寺

8月末までの夏休み中の業務は19:00に終了、土・日曜日は完全休日です。

STEP 壮行会と懇親会に参加して

7月19日19:00~21:00、四日市シティホテルでの四日市クラブ大西博昭メンのコメント大西慎太郎君のケニヤへのSTEP 壮行会に参加してきました。7月末から2ヶ月半の予定で出発。大勢の出席者を前にして、慎太郎君は壮行会開催と支援金に対するお礼の言葉を述べると共に、近代的なビル群とスラム街を隣り合わせに持つような発展途上国への国際協力の在り方を知るべく、又自身の成長の糧を得るべく、しっかりと活動をしてきますと力強く抱負を語りました。なお、懇親会の中で、前期5名の入会者があった郷戸会長期

から引き継いだ今期の早川会長期の初日から新入会者2名の入会式も執り行われ、成瀬理事と石田由美子交流事業主任ほかの立合いのもとで、四日市クラブのエネルギーの強さがはっきりと示されました。四日市クラブからパワーを頂きましょう。

(大島 孝三郎)



(みなさん笑顔 四日市パワー全開です)

釣りと日和田準備作業始末記

高山市久々野を流れる益田川へは、3,4日前から降り続いた雨で本流の水嵩は高く濁っている。いつも渇水気味の支流無数河川(むすごかわ)に向かったが、すでに鮎師が両岸を埋めている。彼らの間で遠慮がちにそっと竿を出すも掛かるのは、ウグイに放流サイズの小さなアマゴばかり、駄目元で入った本流の水勢は強く、危険を感じてすぐ上がる。朝からの小雨は間断なく降り続く。

昨年は後藤さんが、釣ってきたアマゴ、イワナをさばき唐揚げにして出したのが、美味いと評判だった。ぼうず(魚が一尾も釣れなかったこと)の今年は、どう言い訳をするかを考えている内に釣り姿のままで日和田に着いた。バツが悪い。お昼から広場とその周辺の草刈り、伐採はグランパス、東海クラブの連中が済ませている。1階の廊下と玄関の清掃は翌日のわれわれ2人の役目、腰を痛めないように頑張ろう。



(今年も台湾からの2人が、夏休みの間キャンプ場でお世話する)



(昨夜の酒の所為か、寝ぼけ眼で朝食をとる)

夕食は野外にテントを張ってバーベキューである。一仕事終えて酒を飲みながらの話題は事欠かない。つい先日、友だちから「親父の残した陶房が遊んでいる、陶芸教室はどうだろう」と言われたことを思い出した。「土岐で織部焼を作ってみませんか」みなさんに切り出すと、2、3人が手を挙げた。ニーズがありそうだ。

翌朝は1階廊下と玄関の三和土(たたき)の清掃である。物置代わりに置かれた物を移動させながら、掃除機をかけ、モップでの拭き掃除は意外に手間がかかる。夏休みにはこの下駄箱に小さな靴が並ぶことを想像すると、雑巾がけに力が入る。3時間ほどでようやく終わった。

昼食を済ませて8月12日、パレットキッズとマス釣りをする会場「みやま荘」へ確認のため立ち寄った。ここの「釣り堀」を管理する漁業組合の人が「予約を取り消したい」と言う。理由は、例年8月は、われわれと同じように池を利用して釣り大会を催す団体が数件あったが、今年はYMCAさんだけで電気の基本料金7000円を払うことになる。また、マスの生育が悪く数が揃わない、とのこと。さらに池の草刈りに4000円ほど・・・、などと際限がない。子どもたちが楽しみにしている恒例行事、中止にすることもできず、マスをイワナにかえて差額3000円と電気代は全額7000円、計1万円を上乗せし、草刈りはサービスということで手を打った。

後藤さんと「世の中余裕がなくなってきたなあ」と話しながら帰途についた。

(櫛田 守隆)

私が育った街

昭和22年(1947)生まれの私が、幼稚園から昭和50年頃まで住んでいた街は今の町名ですと中区錦2丁目、伏見通と錦通の交差点から歩いて3分ほどの所です。今では大きなビルが立ち並び市の中心部の様相ですが、私の記憶にある昭和20年代後半は、繊維関係の商売をしていた家でも木造の平屋が多く、近

所の子供達が集まって遊んだり紙芝居を見たりする空き地もあり、毎日屋外で釘刺し・ビー玉・コマ回し等をして暗くなるまで遊ぶことが出来た街でした。

15分ほど歩いた所に、進駐軍の家族が住んでいた白川村(白川公園)があり、近所の年長の子に連れられ何度か覗きに行き、芝生つきのカラフルな家々や背の高い外人を見て、外国の雰囲気も少し味わう事もできました。

昭和29年(1954)テレビ塔が出来た頃から街の様子が急に変わり始め、昭和32年(1957)名古屋駅から栄町間の地下鉄が開通した頃には、繊維関係の間屋が建ち並ぶようになり、遊び場であった空き地もなくなり、人通りも急に増え活気のある街に変わっていきました。また、通り2筋南側の広小路通りは夜になると、毎日道の両側にぎっしりと屋台が並び、よくみたらし団子を買に行ったり、また度々親父に連れられ屋台で焼きそばを食べた記憶あり、とにかく夜の広小路は賑やかで特に活気がありました。

昭和38年(1959)に衛生上の理由で屋台が禁止になり、広小路通りも銀行や証券会社の大きなビルが通りの中心を占めるようになり、夕方になるとシャッターが閉められたさみしい街になっていきました。

昭和41年(1962)には郵便配達の利便性を考えて歴史ある町名が、丸の内・錦・栄何丁目と簡単に変更されてしまいましたが、当時は経済活動優先の考え方があまりにも強く、鉄砲町・京町・呉服町・長者町・伝馬町・袋町・桶屋町・八百屋町など歴史ある町名を残す工夫や大切にすることを行政も住民も忘れていたと思われ、今思うと残念でなりません。

現在、錦2丁目は時代の流れと共に繊維問屋街が衰退し、オフィスビル・マンション・駐車場等が地域の多くを占める様になり、シャッター街になりつつあり残念ながら5年後には繊維問屋街の面影がまったく残らず、無機質なオフィスビル街に変わっていると思います。

時代の流れや経済性に逆らう事は出来ないとわかっていますが、少なくとも街の歴史や祭などの伝統を大切にしないと、面白みの無い味気ない街になっていく気がしてなりません。

(鈴木 誉三)

聖書の言葉

【人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。(マタイ 7.1)】

【人をふり見て我がふり直せ(人の行動のよい点悪い点を見て、自分の行動を反省し欠点を改めよ)と同じ意味で、「己を知る」の卓話がズキンと胸にしみる人が居そうである。】

2012. 07. 27

各位

プラザクラブ
会長 高田 廣

陶芸教室のご案内

プラザクラブは、ワイズメンバーとその家族やお友だちを対象にした陶芸教室を企画しました。

手にしっくりなじむ、大ぶりのぐい呑みで酒が呑みたい。
こんがり焼けたさんまを一尾、丸ごと盛ることができる細長い皿が欲しい。
「自分が使いたい器」を織部焼で作ってみませんか。

記

- 先生 : 佐渡山安彦 (73)、千葉大学、日産自動車 デザイン部 卒
日時 : 9月中旬～11月中旬の休日を予定
(参加人数確定次第開催日を決定する)
場所 : 土岐市下石 (おろし)
佐渡山工房
費用 : 大人 (高校生以上) 5,000円以上/人 (材料代込み)
小人 (小中学生) 2,500円以上/人 (々)
定員 : 15人 (オーバーした場合は、人と日を分けて行います)
申込み : 8月22日までにクラブ単位で参加人数をプラザの櫛田 (090-4866-3658) 宛
にご連絡ください。
参考 : 焼物が出来るまでの大雑把な工程
① 手捻り (てびねり) ・ 器物の形を作る。 (轆轤 (ろくろ) は使いませんので
初心者でも簡単に形になります)
② 素焼き
③ 絵付け、施釉 ・ 絵や模様を描き、釉薬 (ゆうやく = うわぐすり) をかける。
④ 本焼き ⇒ 完成
※ ①と③の時、工房に通っていただきます。
作品数は、作業時間の許す限り (10:00～15:00) 何個でも結構です。
お子さん、お孫さん、お友だちをお誘いのうえご参加ください。

以上